

第2期とよはし版GIGAスクール構想

～令和の日本型学校教育の推進に向けて～



1

目次

1. GIGAスクール構想について
 - (1) 国のGIGAスクール構想（文部科学省）
 - (2) とよはし版GIGAスクール構想の目標
2. とよはし版GIGAスクール構想の成果・課題と方向性
 - (1) 端末整備計画
 - (2) ネットワーク整備計画
 - (3) 校務DX計画
 - (4) 1人1端末利活用計画
3. おわりに

2

1. GIGAスクール構想について

(1) 国のGIGAスクール構想 (文部科学省)

【第1期】

令和1～5年度

第1期GIGAスクール構想

○1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで

特別な支援を必要とする子供を含め、

多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、
公正に個別最適化され、資質・能力が一層
確実に育成できる教育ICT環境を実現する

○ (これまでの我が国の教育実践) × (最先端のICTのベストミックス)
⇒ 教師・児童生徒の力を最大限引き出す

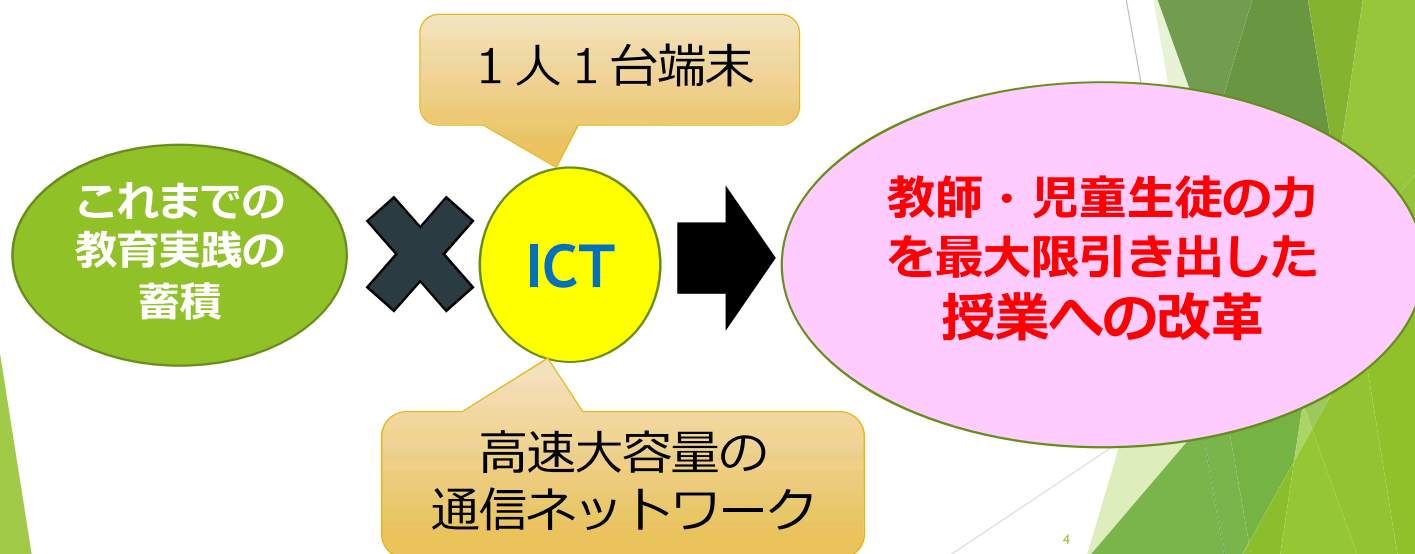
3

1. GIGAスクール構想について

(1) 国のGIGAスクール構想 (文部科学省)

【第1期】

令和1～5年度



4

4

1. GIGAスクール構想について

(1) 国のGIGAスクール構想 (文部科学省)

【第1期】

令和1～5年度

	従来の環境		「1人1台端末」の環境
授業	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人意見を発表 板書で意見集約 板書内容をノートへ書く 自分の考えをノートに書く 	学びの転換	<ul style="list-style-type: none"> 授業支援ソフトで他の子の考えをリアルタイムで共有 クラウド上に累積した自分の考えをいつでも確認
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> 本や資料集から情報収集 現地での調査活動 ドリル学習をして自己採点 		<ul style="list-style-type: none"> インターネットで必要な情報を動画や写真付きで収集 遠隔ソフトで人と対話 AIドリルを使い自分のペースで弱点克服

5

1. GIGAスクール構想について

(1) 国のGIGAスクール構想 (文部科学省)

【第2期】

令和6年度～

第2期GIGAスクール構想

【理念】 ...変更なし

- 多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- (これまでの教育実践) × (最先端のICT) ⇒ 教師・児童生徒の力を最大限引き出す

【その他】 ...「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領」総論より

- 令和3年度末にほぼすべての地方公共団体において端末整備が完了
 - ▲端末の利活用は地域間で格差が存在
 - ▲ネットワークに関する課題あり
 - ▲校務におけるクラウド活用に関する課題あり

- 今後もGIGAスクール構想を安定的に実施し、個別最適な学びと協働的な学びの充実に資するためにも、**端末の日常的な利活用を実現**する必要がある

6

1. GIGAスクール構想

【第1期】

令和2～6年度

(2) とよはし版GIGAスクール構想の目標

- ① タブレットを活用してすすんで学び、自分の考えを伝えたり、他者の考えを理解し、協働して新たな考えを見出したり、問題を解決しようとしたりすることができる
- ② 学校、家庭、その他の機関とのネットを介したつながりを楽しむとともに、さまざまな環境の中でも主体的に学び続けることができる



主体的・対話的で
深い学びの視点による授業

新たな学習形態による
多様な学習活動の保障



とよはし版GIGAスクール

- ・Web掲示板を利用した『Web協働学習』
- ・電子ドリルを用いた『個別最適化学習』
- ・テレビ会議システムによる『オンラインリアルタイム学習』



7

1. GIGAスクール構想

【第2期】

令和7年度～

(2) とよはし版GIGAスクール構想の目標

自らすすんで学び続ける子どもの育成

～1人1台端末を**道具として活用する**活動を通して～

- 「自らすすんで学び続ける」ために
→ 魅力あるソフトの導入、授業改革
- 「道具として活用する」ために
→ 使いやすい端末、ストレスのないネット環境

8

目次

1. GIGAスクール構想について
 - (1) 国のGIGAスクール構想（文部科学省）
 - (2) とよはし版GIGAスクール構想の目標
2. とよはし版GIGAスクール構想の成果・課題と方向性
 - (1) 端末整備計画
 - (2) ネットワーク整備計画
 - (3) 校務DX計画
 - (4) 1人1端末利活用計画
3. おわりに

2. とよはし版GIGAスクール構想の成果・課題と方向性

国の第2期GIGAスクール構想において重視している

【重要な4つの計画】

① 端末整備計画

② ネットワーク整備計画

③ 校務DX計画

④ 1人1台端末
利活用計画

2. とよはし版GIGAスクール構想の成果・課題と方向性

(1) 端末整備計画

国

一人1台端末の継続 (児童生徒数+予備機15%)

豊橋
1期
(成果
課題)

【成果】

- 多くの子どもが**タブレット操作に堪能**になった
- 端末持ち帰りが可能**へ

【課題】

- ▲**端末の故障・劣化** (修繕費増加)
- ▲**利用回数が伸びない**
(小学校1.51回/日 中学校0.75回/日)

豊橋
2期
(今後の
方向性)

- iPadへの更新**
→小中共に故障の少ないiPadへ (故障率:iPad1.35%、Win3.93%)
- 保険付きリース契約**
→故障を気にせず使える環境へ (5年リース、バッテリー交換無料)

11

2. とよはし版GIGAスクール構想の成果・課題と方向性

(2) ネットワーク整備計画

国

速度基準を100%達成 (令和7年度末)

豊橋
1期
(成果
課題)

【成果】

- 教室へのアクセスポイント設置
→**いつでもタブレット使用可能**
(特別教室でも一部使用可能)

【課題】

- ▲**速度基準未達成 9校**
- ▲**特別教室のネット環境不足**
(移動式アクセスポイント不足)

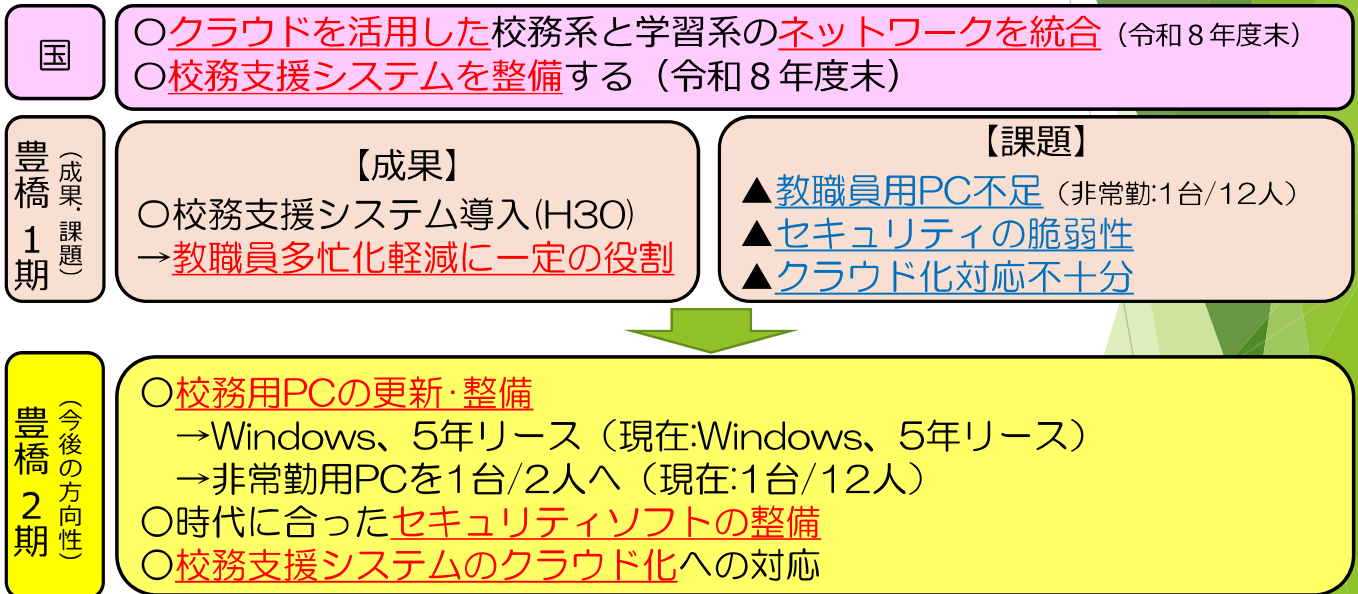
豊橋
2期
(今後の
方向性)

- 脆弱回線の解消**
→速度未達成校について、1から2回線に変更するなどして対応
- 特別教室のネット環境整備**
→移動式アクセスポイントの追加 (小学校/中学校6台→8台)

12

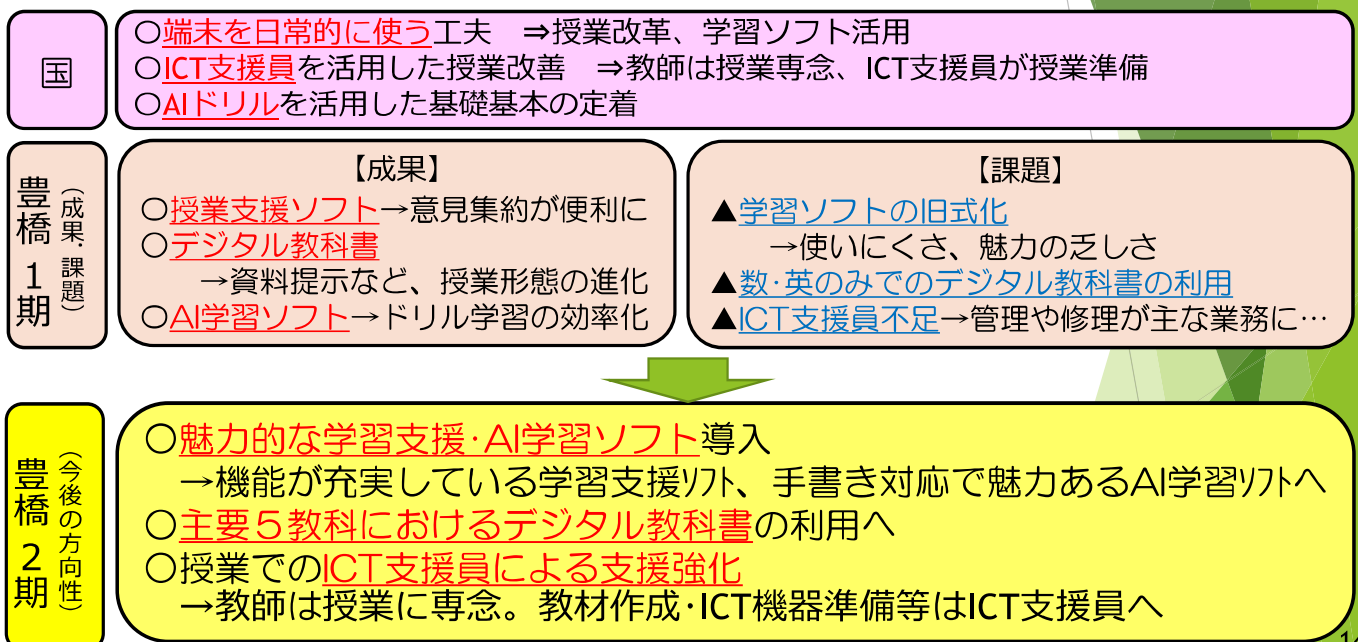
2. とよはし版GIGAスクール構想の成果・課題と方向性

(3) 校務DX計画



2. とよはし版GIGAスクール構想の成果・課題と方向性

(4) 1人1台端末利活用計画



目次

1. GIGAスクール構想について
 - (1) 国のGIGAスクール構想（文部科学省）
 - (2) とよはし版GIGAスクール構想の目標
2. とよはし版GIGAスクール構想の成果・課題と方向性
 - (1) 端末整備計画
 - (2) ネットワーク整備計画
 - (3) 校務DX計画
 - (4) 1人1端末利活用計画
3. おわりに

3. おわりに

導入計画

年 度		R6	R7	R8	R9	R10
(1)	タブレット	買取		5年リース		
(2)	移動式 アクセシビリティ			AP増大		
(3)	校務用PC	5年リース（R7.8まで）		5年リース		
(4)	ソフトウェア	現行ソフト		新たなソフト導入		
	ICT支援員	4名体制		段階的の拡充		

3. おわりに

【目ざす子どもの姿】
自らすすんで学び続ける子ども

【授業が変わる】

- 友達の発言を聞きながらタブレットで他の友達の考えも確認する**ハイブリッド授業**へ
- 疑問に思ったことを、いつでもどこでもタブレットを使って**探究する授業**へ
- 基礎学習をする子と発展的な追究をする子が混在する**新しい授業スタイル**へ

【子どもが変わる】

- いつでもどこでも**普通にタブレットを使う**姿
- 当たり前のように**タブレットを家に持ち帰る**姿
- 誰に指図されることなく、**進んでAidリルに取り組む**姿

魅力あるソフト



授業改革

【教師が変わる】

- 業務効率UPによって生み出した**時間を授業研究に使う**姿
- ICT支援員の助言を受け、**新たな授業スタイルにチャレンジする**姿

「4つの計画」

- ①端末整備 ②ネットワーク整備 ③校務DX ④端末利活用

3. おわりに



1人1台端末を**道具として活用する**活動を通して、豊橋市の子どもたちが、

自らすすんで学び続ける

ように支援を続けていきたい

